



# 「子どもの急病」 知っておきたい受診の目安

監修 千葉県医師会広報・ホームページ委員会 / 千葉県

参考資料 千葉県小児科医会・千葉県医師会・千葉県作成「チェックリストによる子どもの急病ガイドブック」

子どもは、休日・夜間をとわずケガをしたり体調を悪くしたりします。さっきまで元気だったのに、急に吐いたりお腹を痛がったりと予告なくやってくる子どもの急病に、あわてたことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今回の特集は、休日や夜間の急病時にあわてないために、緊急対応が必要なケースと翌日かかりつけ医を受診すればいいケースの重要なポイントを解説します。

## 医療機関の受診をすすめる目安

### ■ けいれん（ひきつけ）

1つでも当てはまる場合は受診を！

- ① 熱のない(37.5℃以下) けいれんである。  
「発熱を伴わない・15分以上続く・けいれんが止まったあとに目が覚めない」などの場合はてんかん発作などが考えられます。
- ② 生まれて初めてのけいれんである。
- ③ 生後6か月以下である。
- ④ けいれんが5分以上続くか、または短くても繰り返している。  
5～10分以上けいれんが続く場合は、救急車を呼びましょう。救急車が来るまでは、頭を少し高くして呼吸の様子を観察し、苦しそうな場合はあごを少し上げてください。
- ⑤ はっきりと、右側（または左側）だけのけいれんである。
- ⑥ けいれんが止まっても意識がない（呼んでも刺激をしても目が覚めない）。  
※ 吐きそうな場合は顔を横に向けてください。舌をかむのを心配して口の中に何かをはさむと、かえって傷つけてしまいますのでやめましょう。



生後6か月以下…

けいれんしたとき  
どんなことを注視  
すればいいの？



熱はない



吐きそうな時は  
横向き



### 以下①②だけの場合は解説を読んで対処を！

- ① 熱が上がってきたときにけいれんがあり、以前にも同様なけいれんがあった。
- ② けいれんの後、すぐに意識は戻り元気である。

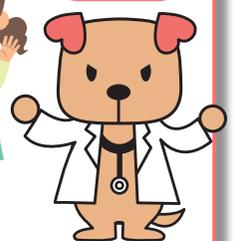
#### <解説>

ほとんどの場合、お子さんのけいれんは熱が出た時に起こる“熱性けいれん”です。短時間でけいれんは止まり重大事になることは多くはありません。まずはご自分の気持ちを落ち着かせ、「けいれんが続く時間はどのくらいか・左半身右半身同じか・熱はあるか」などをよく観察しましょう。けいれんがあったことを、かかりつけ医に話してください。

まずは  
落ち着く  
ピッ



けいれんが  
続く時間を  
カクニン！



## 医療機関の受診をすすめる目安

### ■ 嘔吐

#### 1つでも当てはまる場合は受診を!



① 生後3か月未満の子が熱を出して吐いている。

生後3か月までの赤ちゃんが高い熱を出したときは受診が勧められますが、吐いている場合には、髄膜炎や脳炎などの重い病気のこともありますので、なおさら受診が必要です。特に、普段は平らな頭のでっぺんが膨らんでいる場合は、緊急を要します。

② 繰り返し吐いている。

頻回・反復する嘔吐は、水分摂取の低下から脱水を招く可能性があります。また、重篤な疾患である可能性もあります。緊急性は高いと考えられます。

③ 吐物に緑色、血液やコーヒーの残りかすのような色が混じっている\*。

\*のようなものを嘔吐しているときは、消化管の出血・閉塞など重篤で緊急性が高い疾患である可能性があります。



④ 頭を強く打った後、24時間以内に嘔吐し始めた。

転んだり、自己で頭を強く打撲した場合、その後落ち着いているようにみえても、24時間は観察してください。頭を強く痛がったり、嘔吐するようになったり、発熱する場合には、頭蓋内出血の恐れがあります。

#### 24時間観察して!

観察してほしい  
ことから



嘔吐



頭痛



発熱



#### 以下①②だけの場合は、解説を読んで対処を!

① 1~2回吐いたが、その後は吐かず元気があり、機嫌も良い。

(頭を強く打った後の嘔吐は除く)

② おしっこがいつもどおり出ている。

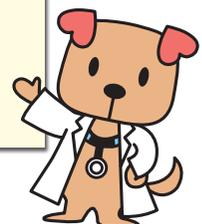


#### <解説>

機嫌が良くて元気があるときは、重篤な状態とは考えにくいものです。

吐かない程度に少しずつ水分をとらせ、家庭で経過をみることができますでしょう。

翌日、かかりつけ医を受診してください。



## 医療機関の受診をすすめる目安

### ■ 頭を打撲

#### 1つでも当てはまる場合は受診を!

- ① 意識がなかったり、ぐったりしていて元気がない。
- ② けいれんがある。
- ③ 耳や鼻から血や液体が漏れ出ている。
- ④ 何回も続けて吐いてしまう。
- ⑤ 頭痛を強く訴える。
- ⑥ 打った部分がへこんでいる。



様子を  
よく見る  
ピッ!



①～⑥が一つでもある場合は、頭の中に出血があるか骨折している可能性もありますから、救急車を要請しましょう。

※ 非常に大きなこぶや打った部分がへこんでいる場合は、骨折をしているかどうかの検査が必要になります。

#### 以下①②だけの場合は、解説を読んで対処を!

- ① 頭を打った直後激しく泣いたが、元気になった。

頭を打ったあと、大きな声で泣くときは、まず大丈夫と考えてよいでしょう。あわてないで、他に異常(手足の骨折・お腹の痛みなど)がないか体の様子をよく観察し、その後の経過を観察しましょう。

- ② 頭にこぶができたが、触ってもへこんだりしていない。

「こぶ」だけでしたら、冷やして様子をみましょう。

#### <解説>

頭を打った直後は平気でも、あとから症状が現れることがあります。特に「2～3日間ボーっとしたりぐったりしていないか、機嫌・顔色は悪くないか、水分は十分とれているか、急に吐いたりしないか」などに注意する必要があります。

※ ベビーベッドや階段からの転倒、つかまり立ちから転ぶ、歩行器での転倒、ベビーシートに装着なしでの車内での転倒などがお母さんが頭を打つ主な原因です。事故を防ぐようにいつも心がけましょう。



### ■ やけど

やけどの重症度・緊急度は、程度(I～Ⅲ度に分けられ、I度は赤くなるだけ、Ⅱ度は水ぶくれ、Ⅲ度は白もしくは黒くなる)と範囲、部位で判断します。

#### 1つでも当てはまる場合は受診を!

- ① やけどの部分白もしくは黒くなっている。(強度のやけど)

白もしくは黒くなっているⅢ度の、重度で広範囲の場合は、冷やさず清潔なシートでおおってから毛布をかけて保温し、救急車を呼びましょう。

- ② 水ぶくれができていて、範囲が子どもの手のひら以上の広さ  
まずは水道水を流しっぱなしにして10分以上冷やすこと。服は、脱がせなければ衣服の上から冷水をかけましょう。水ぶくれは破らないように注意しましょう。

- ③ 顔・性器のやけど

顔・性器のやけどは、程度が軽そうに思えても、予後を考えて医療機関を受診しましょう。



広範囲のときは  
シートで  
おおおうピッ!

## 医療機関の受診をすすめる目安

### ■ 腹 痛

1つでも当てはまる場合は受診を！

(3歳未満)

- ①不機嫌で30分以上泣きやまない。
- ②便中に血液が混入している。
- ③お腹がパンパンに張っている。
- ④オムツをはずすと、股のつけ根や陰囊いんのおのところ膨らんでいて小さくならない。

3歳未満では、自分でお腹が痛いと言えないので、注意が必要です。①～④のような場合には、すぐに手術などが必要な病気の可能性もあります。



(3歳以上)

- ①顔色不良で、痛みで歩くのが困難。
- ②嘔吐を繰り返し、嘔吐したものに血液や黄色い液体が混じっている。
- ③お腹を触ると痛み、お腹の筋肉を硬くして嫌がる。
- ④お腹を強く打った後に、強い痛みがある。



#### <解説>

3～4日便が出ていなくて、腹痛以外に症状がほとんどない場合には、浣腸が効果的なことがあります。下痢がひどくなく、発熱や嘔吐がなければ、食べ物は無理に食べさせず、水分を少しずつ様子を見ながら与えて、通常の診察時間に、かかりつけ医を受診しましょう。

以下①②の場合は解説を読んで対処を！

- ①排便が数日間なかった。
- ②1～2回の下痢があるが、元気は良い。

### ■ 医療機関へのかかり方

#### 受診しようか迷ったとき

インターネットから、日本小児科学会ホームページにある「**こどもの救急**」にアクセスしてみましょう。

- ・パソコン、スマートフォン、フューチャーフォンで <http://www.kodomo-qq.jp/> にアクセスしてください。
- ・お子さんの症状をチェックすることで、すぐに病院へ行くべきか、おうちで様子を見ても大丈夫か、判断の助けになります。様子を見るときは看病ポイントも掲載されています。
- ・「近くの医療機関検索」をクリックすると、「ちば救急医療ネット」にもリンクされています。(このサイトは、生後1か月から6歳のお子さんが対象です)

それでも迷ってしまう場合は「**こども急病電話相談 (# 8000)**」をご利用ください。  
こども急病電話相談は、看護師が電話で症状を伺います(必要な場合は小児科医に転送)。

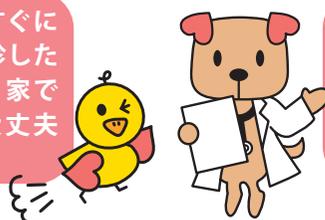
\*電話によるアドバイスであり、診断や治療はできません。

相談時間：19時～翌朝6時(年中無休)

電話番号：**# 8000**

**043-242-9939** (※ダイヤル回線、光電話、IP電話、銚子市からはこちら)

迷う場合は、すぐに医療機関を受診したほうがいいか、家で様子を見ても大丈夫か相談するピッ



急な病気やケガは、大変あわててしまいますが、休日や夜間などかかりつけ医に相談できない場合は、「こども急病電話相談」にお電話してください。